

中期経営計画

2020-2022

2020年11月13日



本資料内の省略表記について

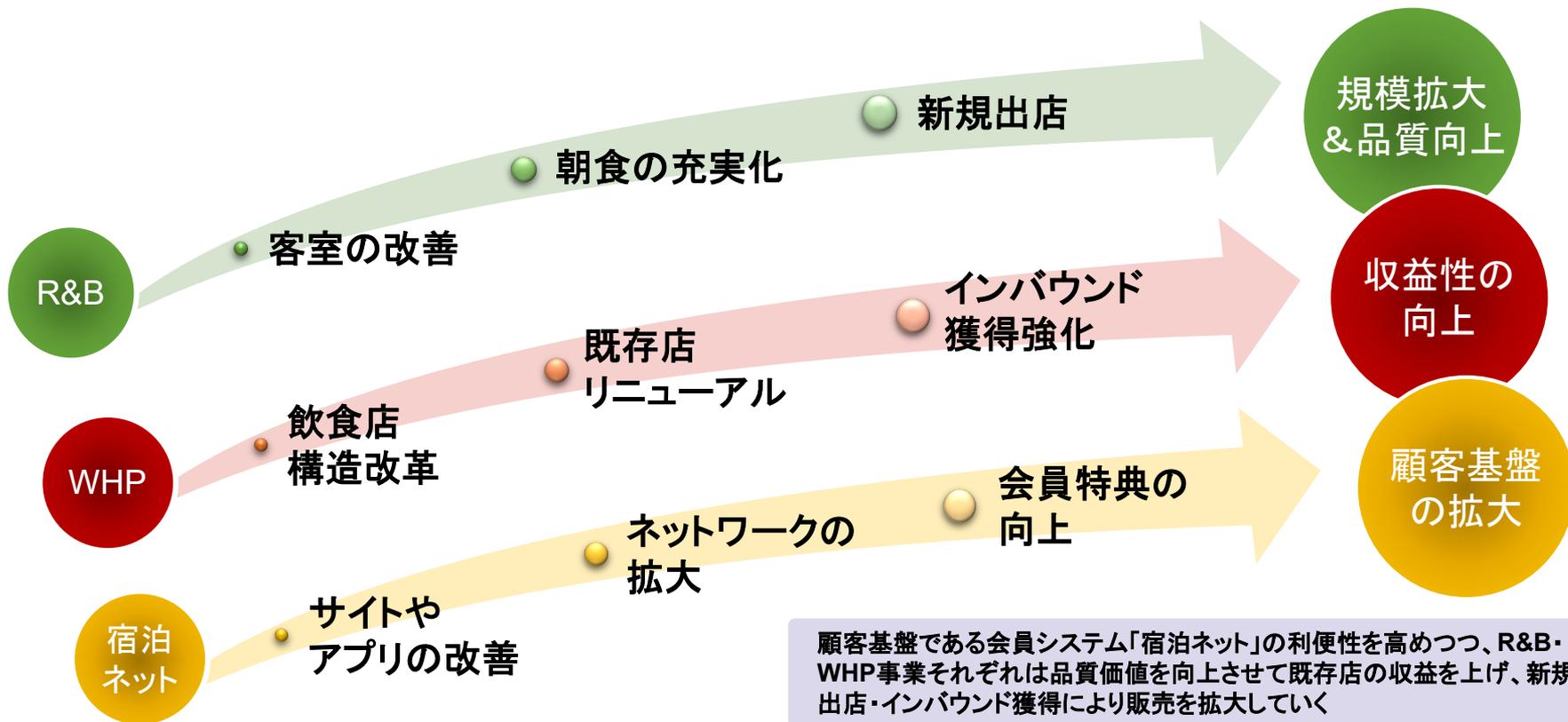
本資料内におきましては、便宜上、以下の省略表記を用いています。
<ホテルブランド名称> ワシントンホテルプラザ＝「WHP」、R&Bホテル＝「R&B」

目標・ビジョン

「お客様と従業員に高い満足を提供する」
「グローバル展開し安定性の高いポートフォリオを実現する」
「高い収益性を維持し企業価値を向上させる」



中期経営計画
(2021/3期～2023/3期)



機会

- 世界的イベントの国内開催と根強い海外旅行客の訪日意欲
- 働き方改革、有給取得義務化等による休日取得の増加及び分散化

リスク

- 感染症の拡大・長期化によるホテル利用需要の減退期間の長期化
- 新設ホテルの供給増加による競争激化
- Web会議、テレワークの増加による出張需要の減退

課題

- 利益率の一層の向上を図るための生産性の向上
- 売上の維持・拡大を実現するための新規顧客の獲得、リピート率の向上
- ホテルの経年劣化、デザインの古さによる競争力低下の改善
- ESG意識の高まり、市場からの要請に応え得る経営のバージョンアップ

マルチジョブ（＝多能工化）のさらなる推進

- WHPを中心に宴会場や複数の直営飲食店を持つ大型事業所でのマルチジョブの取り組みを加速させる



飲食店運営の構造改革

- 各飲食店舗のフロア及びキッチンの業務効率を構造的に見直し、オペレーション効率を高める
- 不採算の飲食店舗は店舗の閉鎖、入れ替えを含め改革を実行

機械化・IT化による業務効率の向上

ホテル部門

- 自動チェックイン機の導入によるフロント業務負荷の軽減
- 事業ごと別々である営業基幹システムの統一化と簡素化

2020年2月に高崎WHPに導入した
自動チェックイン機



管理部門

- RPAシステム等の業務自動化システムの活用
- 電子申請等のワークフローシステムの導入活用
- 宿泊ネット利用者等のビッグデータの分析活用
- 各種分析ツールの導入活用による事務作業削減
- 人事管理システムの刷新

タイアップ、提携の活用

- 藤田観光株式会社との宿泊サイトの相互利用の実施



- 地元自治体の復興支援を目的としたキャンペーンへの積極的参画

– 10月末までに、WHP17ホテル、R&B13ホテルが参画^{注1}

- 地場飲食店とのタイアップを通じた地方色あふれる宿泊パックの企画・販売を推進



(注1) キャンペーン終了分を含む (注2) 弊社調べ (注3) 企業や団体が自らの組織内に設置した旅行会社

販売チャネルの強化

「宿泊ネット」の
利用インセンティブ
及び利便性の向上

法人チャネルを
はじめとする
ネットワークの拡大

- ポイント還元率を5%から7%に引き上げ
- ホテル業界初^{注2}となるPayPayギフトカードへのポイント交換特典を新設
- インハウスエージェント^{注3}、法人契約先の拡大
- 新たなOTA等との提携拡大

📌 **メリット1**

7%

ポイント還元

📌 **メリット2**

うれしいポイント交換！

宿泊料金
として利用可能

amazon.co.jp
ギフト券

PayPay
ギフトカード

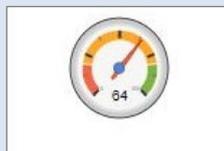
とも交換可能

フロントで交換
キャッシュバック

おもてなしの向上

- 新たにクチコミ分析ツールを導入し、分析対象のサイトを拡大した他、寄せられたクチコミの分析強化と、お客様の指摘に対する改善策の実施をスピードアップさせる仕組みを導入（2020年3月～）

分析ツールメニュー例



研修を通じた
従業員の
おもてなし力の向上

Web研修、オンライン研修の導入
通信教育補助制度の新設

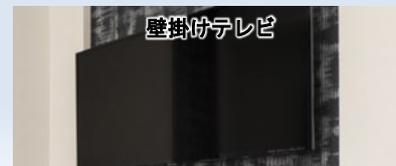
R&Bの商品力強化

Roomの 充実化

- サーモ式混合栓、シーリングライト等への交換
- 湯沸かしポット、壁掛けテレビ等の導入

Breakfastの 充実化

- 無料朝食の提供アイテムの拡充
- パン屋さんでパンを選ぶような「愉しみ」を提供



新規出店による事業の拡大

- 出店地を厳選し、着実に利益が出せるエリアへの出店により事業を拡大する
- 数ありきではなく、厳選した好立地に出店することで高収益性を確保
 - 政令指定都市を中心
 - 最寄駅から徒歩5分程度
- 年間1~2店舗ずつ
- 出店ブランドはR&Bが中心だが、観光需要も強いエリアではWHPでの出店も検討

開業年月	名称	客室数	運営形態
2020年11月1日	R&B名古屋駅前	237	自社所有
2022年3月（予）	札幌WHP（仮称）	259	リース



既存ホテルのリニューアルによる品質向上

- 既存店の改修工事を実施し競争力を向上につなげる
 - 開業年月の経つホテルを中心に
 - 年間1~2店舗ずつ
 - 客室内リニューアル、ホテルロビー、フロントカウンター、エレベーター、客室フロア、客室内照明・水回りなど

工事完了年月	名称	客室数
2021年3月（予）	博多中洲WHP	247
2021年3月（予）	R&B東日本橋	201
2023年3月（予）	R&B上野広小路	186
2023年7月（予）	熊本WHP	350

リニューアル事例

博多中洲WHP（2021年3月完了予定）

※1フロアごとに改修工事を実施中



プラスチック製品の使用抑制



2000

客室への歯ブラシ・かみそりの常備を止め、持参を呼びかける活動をスタート

2005

歯ブラシ・かみそり持参5回で500円分QUOカードの進呈を開始

2018

プラスチックマドラーを木製に変更

2019

プラスチックストローを生分解性のものに変更

プラスチック製品のさらなる使用抑制に努め地球にやさしい企業運営を行う

公共スペースとしてのホテルの在り様の確立



現在、当社の一部ホテルにおいて以下の取り組みを実施しており、今後も自治体等に積極的に協力

災害時帰宅困難者受入施設として登録

AED（自動体外式除細動器）の設置

犯罪被害者等に対する宿泊施設として登録

AEDの早期設置を目標とするほか、地域と共生できるホテル運営を行う

業績計画（単位：百万円）

	2021年3月期 ^注	2022年3月期 ^注	2023年3月期 ^注	計画策定の前提
売上高	5,708	15,211	16,674	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染症流行の収束時期については、国内は2021年6月頃を見込む一方、インバウンド観光客受入れ再開時期は中計期間中は見込まず ■ 東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う観光需要は見込まず ■ 設備投資については7ページ記載のものを見込む
営業利益	△6,670	348	808	
（営業利益率）	（ - %）	（2.3%）	（4.8%）	
経常利益	△7,003	177	517	
親会社株主に帰属する当期純利益	△6,930	83	319	
EBITDA	△5,835	1,294	1,765	

（注）当社の子会社である名古屋国際ホテルは、2020年9月30日をもって営業を終了しております
業績計画は、2021年3月期は連結、2022年3月期以降は単体としております

株主還元の
考え方

- 株主還元は配当を中心に実施
- 基本方針は「業績を勘案しつつ、既存事業所の設備改修のほか、将来の事業展開と経営体質の強化、並びに不測の事態の備えのために必要な内部留保を確保しつつ、配当性向25%を目安とした安定的かつ継続的な配当を実施」すること
- 但し、今中計期間中は株主の皆様のご期待を勘案しつつも、今後の業績の推移・見通しに基づいて決定する方針

免責事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等様々な要因により、実際の業績は言及または記述されてる将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。
- なお、図表を含め当資料の著作権はワシントンホテル株式会社が保有しております。

本資料に関するお問い合わせ先

ワシントンホテル株式会社 経営企画室

TEL : 052-745-9035 E-mail : pr@washingtonhotel.co.jp